

福島県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

●福島県の公立高校入試は、原則として前期選抜の1回ですが、選抜方法が2種類あります。

	出願期間	志願変更	入試日	合格発表日
前期	2/4(木)~9(火)	2/10(水)~15(月)	3/3(水) (面接等3/3~5)	3/15(月)

・特色選抜

各学校が自校の特色に応じて行う選抜

・一般選抜

中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜

●普通科の通学区域は、原則として、県北、県中、県南、耶麻、会津、相馬、双葉、いわきの8つに分かれています。専門学科、総合学科は全県1学区とし、いずれの高校にも志願することができます。

ただし、市町村や地域によって分けられた「固定区（ある特定の学区に属する地域）」・「共通区（複数の学区に属する地域）」というくくりがあり、住んでいる場所によって出願範囲の条件が異なるため、事前に確認しておきましょう。

出願について

●出願は、原則1校に限り、特色選抜と一般選抜のどちらか、又は両方に出願出来ます。両方に出願する場合、一般選抜の出願は、特色選抜の出願した学科と同じ学科でも異なる学科でも認められます。

また、原則として第二志望は認められませんが、一般選抜において、以下の場合は第二志望が認められます。

①理数科・英語科・数理科学科・デザイン科学科と普通科を併置する学校の場合、相互を第一志望・第二志望に出来る。

②体育科を志望する場合、普通科が併置されていれば、第二志望に出来る。

この際、体育科を第二志望とすることは認められない。

③コース制をとる普通科は、普通科内の他のコースを第二志望に出来る。

④農業・工業・商業・水産に関する学科(大学科)は、それぞれの小学科間又はコース制をとる小学科がある場合、第二志望に出来る。

●その他、福島県教育委員会は、県内外に避難している受検生に対し、出願機会を確保するため、弾力的な対応を行っています。

出願前に教育委員会のHP等で確認してみましょう。

・指示区域等の解除された市町村に帰還した受検生 → 帰還先の通学区に通学できる高校が無い場合は、通学区域外の高校へ出願が可能。

・住民票を移さずに避難している受検生 → 住民登録をしていた市町村の属する通学区域内、または現在保護者が居住している市町村の属する通学区域内の学校へ出願が可能。

特色選抜

●特色選抜

各学校の提示する「志願してほしい生徒像」を満たし、自ら志願する動機・理由が明確かつ適切である者を対象とした選抜です。

募集区分がある場合は、〇〇型等という形で、それぞれの求める生徒像が細かく公表され、選抜方法も「志願してほしい生徒像」同様各学校から発表されます。募集人員は募集定員の5%~50%の範囲で各学校により決定されます。

●選抜資料

学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各50点） ・各学校の裁量で学校配点（比重変更）・傾斜配点を行うこともある。
調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定：1~3年の評定=135点満点（原則） ただし、学科の特性や学力検査の成績との比重を考慮して、傾斜配点により加点が可能。また、その他の項目については、点数化する項目や点数化の方法を各学科ごとに決定。「特別活動等の記録」の点数化が多数。
その他	【志願者全員】特色面接、【各学校裁量】特色検査(小論文又は作文、実技等)

●上記の資料を用いて、点数化されない資料を加味した上で、総合的に判定されます。

また、特色選抜と一般選抜の両方に出願した志願者が特色選抜で不合格になった場合は、一般選抜のみの志願者と合わせて選抜の対象となり、再度合否判定されることとなります。

一般選抜

●一般選抜

中学校における学習活動の成果を総合的にみる選抜です。

募集人員は特色選抜・連携型選抜の合格者を除いた人数となります。

●選抜資料

学力検査	国語・数学・英語・理科・社会の5科（各50分・各50点） ・各学校の裁量、または志願者の自己申告による傾斜配点を行うこともある。ただし、学力検査と調査書の成績の比重を変える場合には、傾斜配点は実施しない。
調査書	「各教科の学習の記録」の9科の評定 ・1~3年の評定+（3年の音・美・保体・技家）=195点満点 ・各学校長の判断により「特別活動等の記録」の点数化が可能。 点数化する場合は、55点満点とする。
その他	【各学校裁量】一般面接

●上記の資料を用いて選抜を行います。原則として、学力検査と調査書の成績の比重を同等とします。ただし、学校の特色化を図る観点から比重を変えることもあります。

比重を同等とする場合は、学力検査と調査書の成績の両方が定員内にある受検者で、調査書の記載や一般面接で特に問題のない者が合格となります。

一方、比重を変更する場合は、学力検査と調査書のどちらかに該当学校長が設定した数値を掛けて、両者を加えて得られた成績と、調査書の記載や一般面接などを考慮し、総合的に判定します。